

第1回近江八幡市オープンガバナンス推進協議会

官民連携で地域の課題をみんなで解決

横浜におけるオープンガバナンスの取り組みについて



NPO法人
横浜コミュニティデザイン・ラボ

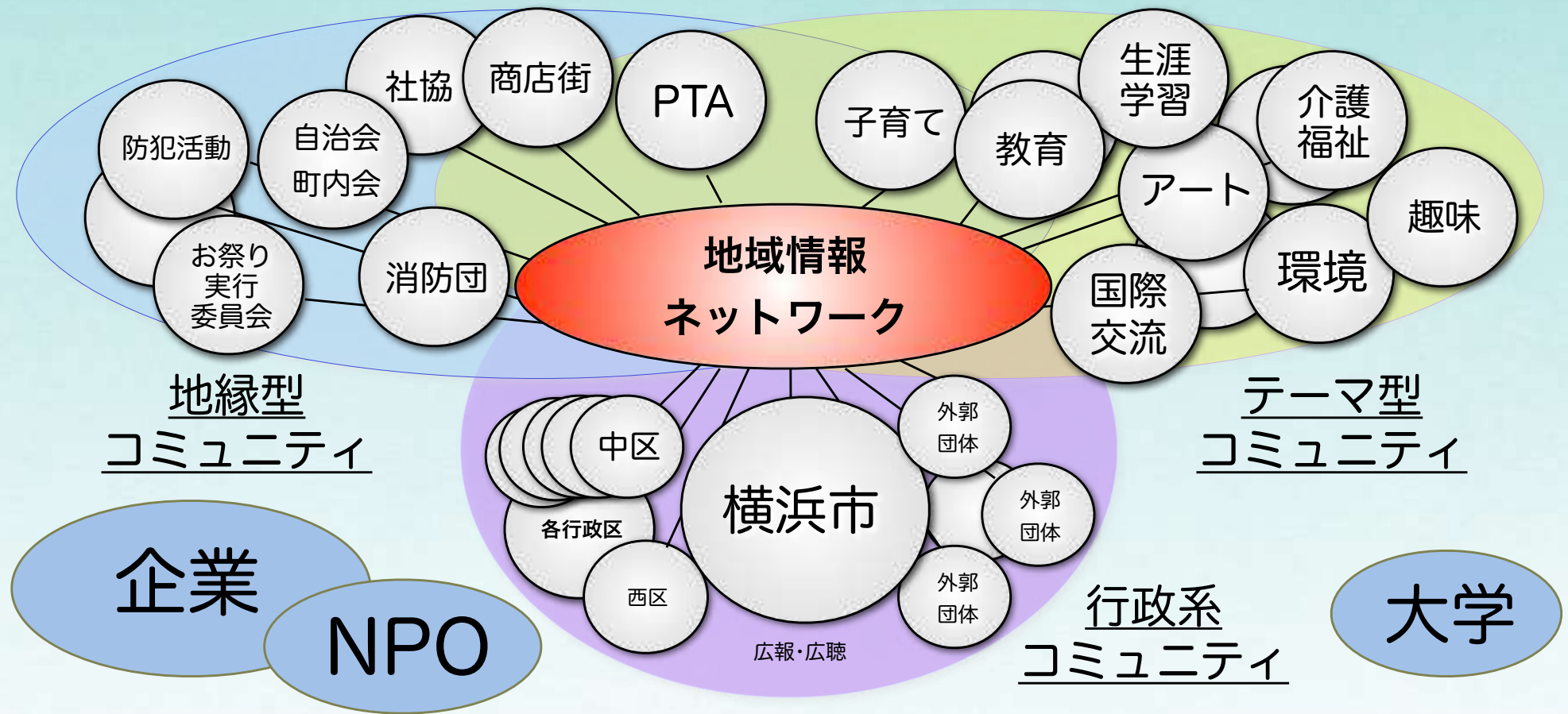
杉浦裕樹 sugi@yokohamalab.jp
<http://facebook.com/sgjur>
<http://twitter.com/sgjur>



**横浜の地域資源（ヒト／組織／拠点
／制度／プロジェクト）を活用し、
価値ある情報を市民の「共有財」と
して「まちづくり」に活用する仕組
みづくりに取り組んでいます。**

2003年 NPO設立時の挨拶文より

地域コミュニティデザイン



共感できるテーマ・人との出会いの機会・活躍の舞台をつくる
情報デザイン／活動デザイン

多様な主体を「つなぐ」

地域参加・参画を増やす

高まる公民連携の期待と構造的な地域活動の担い手不足

課題は複雑になり、社会保障費は増大。

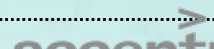
人口減少と超高齢化が進み税収は減少。

行政が出来ることには、限界がある。

地域社会の課題解決の取り組みに
公民連携による協働・共創が望まれる。

地域資源のマネジメント

このまち・わたしから未来を創る LOCAL GOOD YOKOHAMA

supported by  accenture

- **経緯：横浜の地域課題の解決を目指す横浜コミュニティデザインラボと、その取り組みを支援する横浜市政策局政策課とともに、アクセンチュア株式会社によるCSRで取り組んできた東北での起業家支援の取り組みを横浜へ横展開する可能性について議論し、2013年10月から同社のキャッシュ・プロボノによる支援を受けて運営（2014年6月β版始動、同年10月本格スタート）。**



このまち・わたしから未来を創る LOCAL GOOD YOKOHAMA



supported by
accenture



イベントへの参加者

6341人



支援した人

791人



集まった金額

16,432,793円



成立したプロジェクト

25 件



支援を募集中のプロジェクト

1件

＜コンセプト＞ 地域を知り、地域の価値ある活動に参加・応援するきっかけをつくるプラットフォーム。

＜実現したい地域社会の像＞ 多くの市民が横浜をよくする活動（LOCAL GOOD アクション）に参加する横浜。
「温かいお金」の循環による「コミュニティ経済」の構築を目指す。

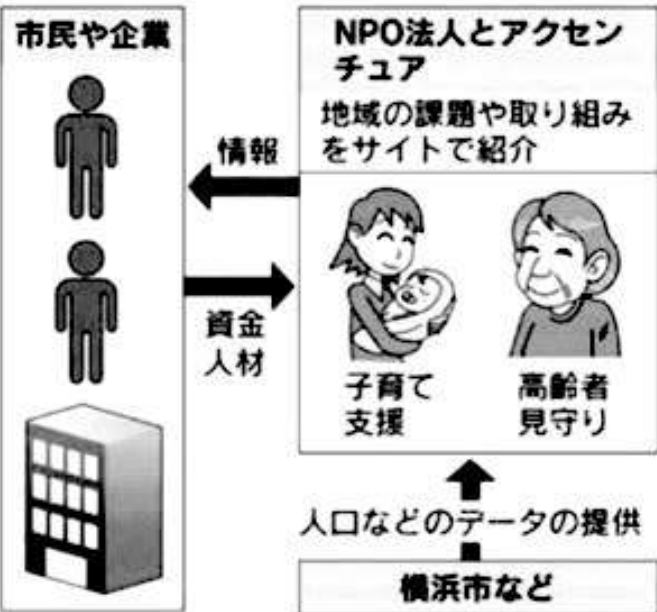


横浜のまちづくり 市民の力で

NPO法人の横浜コミュニティデザイン・ラボ（横浜市、杉浦裕樹代表理事）とアクセセンチュアは、横浜市内のまちづくり活動などの資金や人材をインターネットで市民らから募るウェブサイトを開設する。地域の課題や活動を紹介し、インターネットを通じて広く小口資金を集める「クラウドファンディング」などを手掛ける。行政だけでは手掛けにくい地域の課題解決に市民の力を活用する。

NPO法人とアクセセンチュア

まちづくり活動への市民や企業の参加を促す



ウェブサイト「ローカルグッド ヨコハマ」は2種類のコンテンツで構成。少子高齢化など地域の課題を紹介する内容。まず12日、地域の課題

ウェブサイト「ローカルグッド ヨコハマ」と、課題解決に向けたNPOや個人の活動の支援を促すものだ。これらを2段階で製作する。

地域の課題紹介サイト

資金・人材、ネット募集

日本経済新聞 地域経済
掲載日 2014年6月12日



LOCAL GOOD
YOKOHAMA

2014年10月下旬から
本格運営



市民活動も立体地図で

高齢化の進む郊外部の大規模団地、増える空き家など横浜市内の地域の課題を3Dマップ上に示し、解決に取り組む市民団体などの活動を紹介して、市民参加を促すウェブサイト「LOCAL GOOD YOKOHAMA」が、さきさな地域課題に取り組む市民団体や企業、個人などの情報を、立体地図で提示。また、膨大な市のオープンデータを活用し、デザイナーやクリエイターが動きのあるグラフィックで表現された。12日午後、横浜市中区（順生 勇）

地域課題ウェブに

高齢化団地、空き家…

神奈川新聞 掲載日 2014年6月14日

横浜が抱える6つの課題



増え続ける歳出 様々な課題が顕在化

不足するリソースを補完する
新しいやり方が必要？

地域市民巻き込み型の
新たな課題解決手法

セクター・組織横断による
オープンイノベーションの
創出

■地域の社会的課題や支援団体の取組みを可視化し、市民参加を促すことで新しい公共の仕組みをつくる**ウェブプラットフォーム**

■NPO法人横浜コミュニティデザイン・ラボが
アクセンチュア（株）様の協力を得て構築

■本市のオープンデータを活用

<http://yokohama.localgood.jp/>





「地域情報の見える化」：課題投稿・3Dマップ・ニュース



 あなたの声を投稿する

あなたの身の回りのことについて投稿してください。地域市民のみなさんの投稿をお待ちしています。

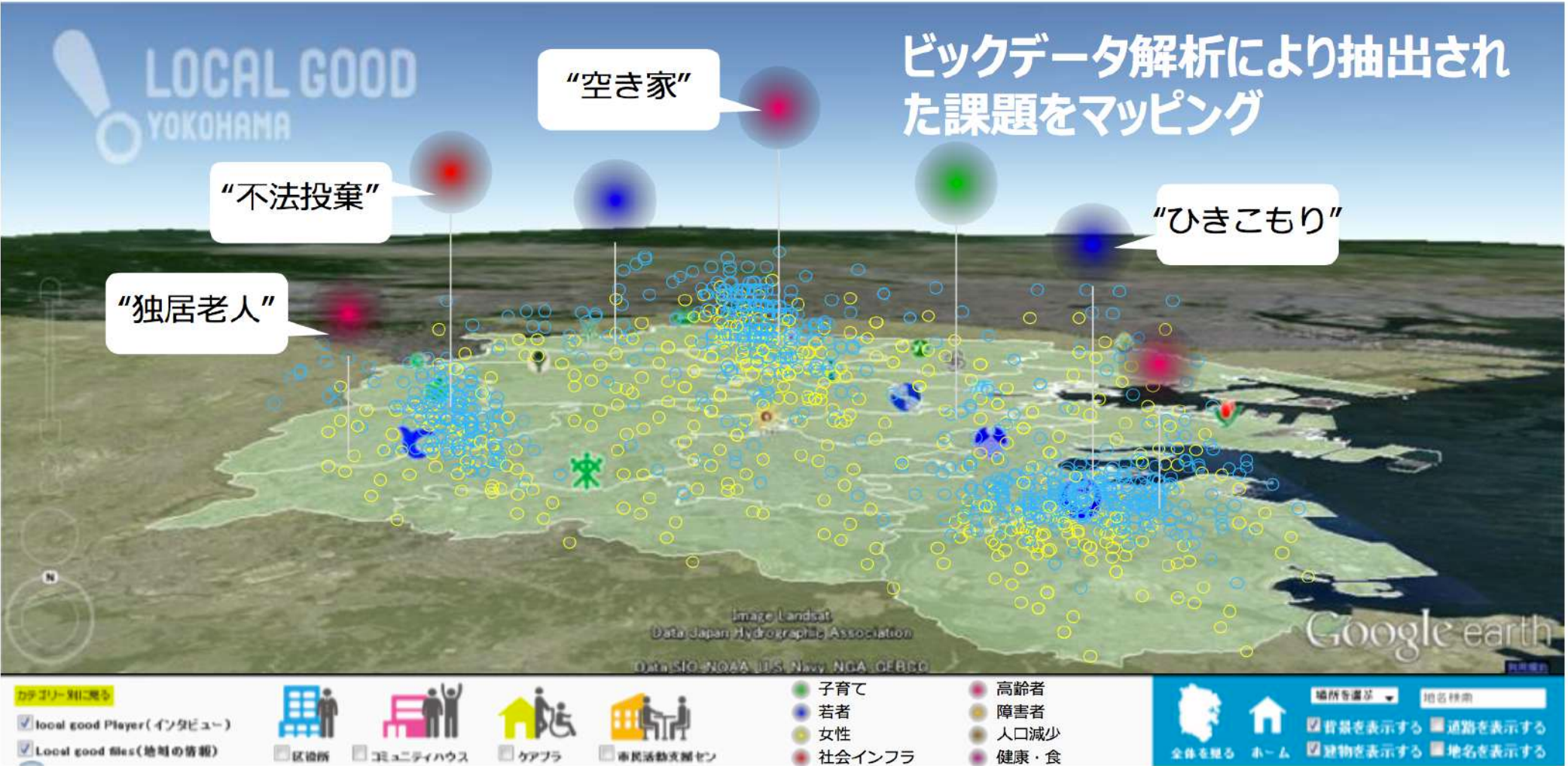


WEBサイト・スマートフォンアプリから投稿 された市民が抱える課題を集める機能

集めた課題を3Dマップ上に表示して、 課題を「可視化」する機能

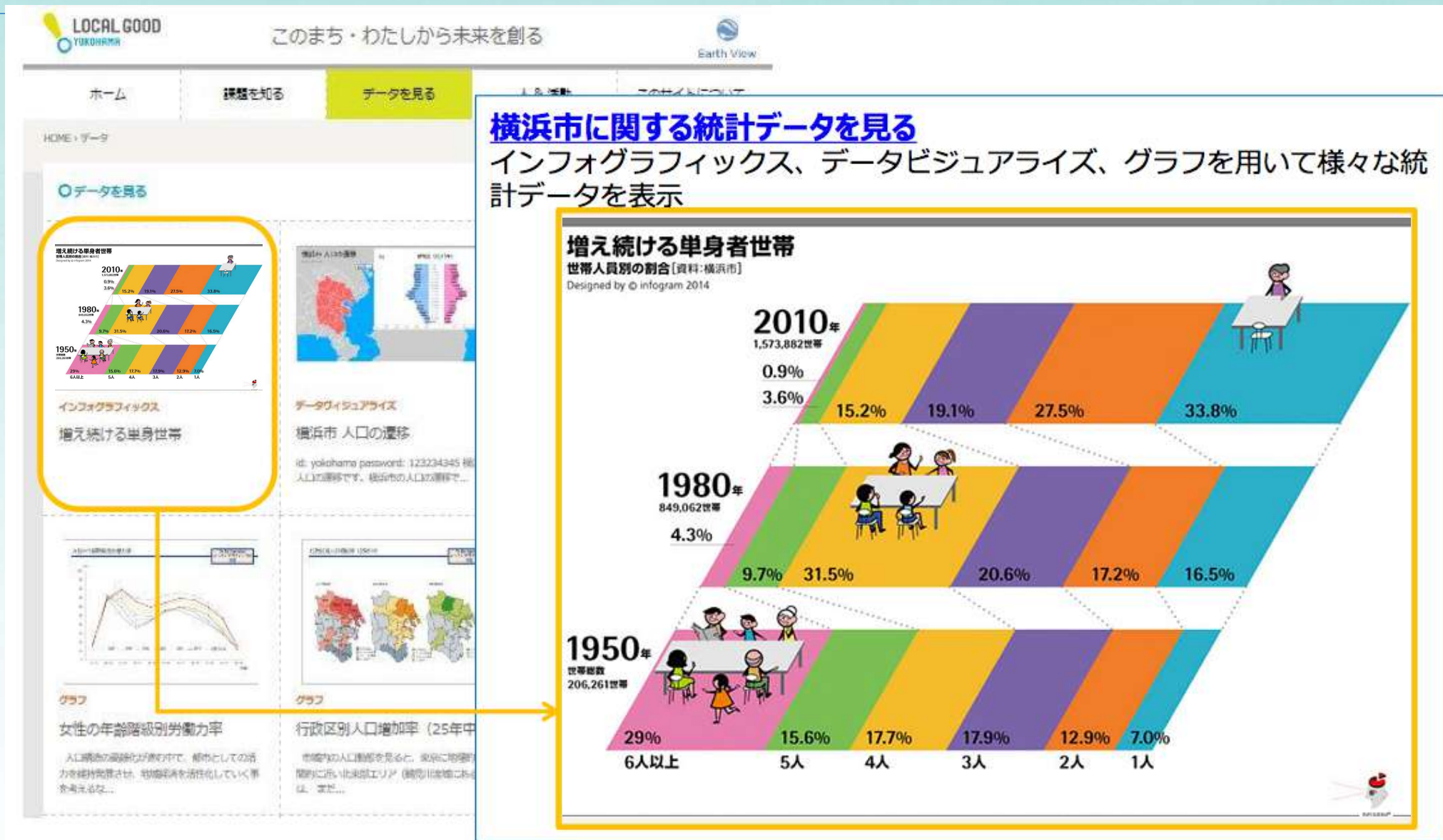


課題ダッシュボード - 3Dマップ





infographics / data visualization



インフォグラフィックス制作協力: NDC Graphics
データビジュアライズ制作協力: 矢崎 裕一 (Code for Japan)
デザイン監修: 阿部 太一 (デザインオフィスGOKIGEN)



skills matching

LOCAL GOOD YOKOHAMA

このまち・わたしから未来を創る

ホーム 課題を知る データを見る 人 & 活動 このサイトについて

WEBサイトをつくります

話し相手になります！

私は英語が話せます！

経営の相談に乗りますよ！

イラストが描けます！

参加できる
課題が見える
課題を集める

地域に何か役に立てたら♪

LOCAL GOOD YOKOHAMA

特技が活かして嬉しい♪

スキルマッチング機能
ひとをつなぐ・活かす

あなたが提供できる「スキル」を登録して、地域のステキな活動を応援しませんか？

LOCAL GOODについて | 利用規約 | プライバシーポリシー | メルマガ登録 | お問い合わせ





支援期間終了、締切済み



障害者

ファール ニエンテ「みんなの庭」プロジェクト

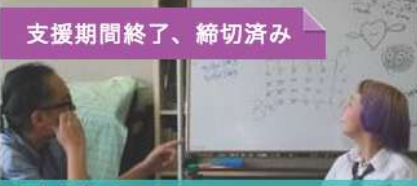
プロジェクトオーナー：萩原 達也
剪定 その他

2014年11月下旬、横浜市営地下鉄ブルーライン・下飯田駅（横浜市泉区下飯田町829）のすぐ近くに、...

達成金額

321,500 円 | 161%

支援期間終了、締切済み



若者, 社会インフラ

有給職業体験プログラム「バイターン」実施プロジェクト

プロジェクトオーナー：石井正宏
取材、執筆 文章校正 編集 ウェブサイト制作・デザイン システム開発・運用 サイト運用・管理・保守

「バイターン」とは職業的経験であるアルバイトと、企業内の教育的なインターンシップをかけあわせた新し...

達成金額

1,000,000 円 | 167%

支援期間終了、締切済み



高齢者, 社会インフラ

いのちの木「おばあちゃんの編み物会社」設立に向けた「商品開発」プロジェクト

プロジェクトオーナー：岩永 敏朗
商品企画 市場、ニーズ調査 手芸、ミシン ウェブサイト制作・デザイン システム開発・運用 サイト運用・管理・保守

横浜市営地下鉄ブルーライン仲町台駅そばにあるコミュニティカフェ「いのちの木」（横浜市都筑区仲町台）に...

達成金額

426,800 円 | 142%

支援期間終了、締切済み



地産地消（食）、女性

青葉区発横浜おみやげプロジェクト

プロジェクトオーナー：櫻井 友子
商品企画 広報 写真撮影、加工 動画撮影、配信 動画編集、加工 インターネットでの情報発信、広報 イベント企画 イベント運営 ウェブサイト制作・デザイン システム開発・運用 サイト運用・管理・保守

落ち着いた住宅地から少し離れると、田畑があちこちに残る横浜市青葉区。横浜市18区のうち、最大の水稻...

達成金額

1,013,000 円 | 184%

支援期間終了、締切済み



防災、まちづくり

「サバイバルジュニアワークショップ」実施のための、子どもたちによる東北被災地取材ツアー

プロジェクトオーナー：Akiko Iwamuro
写真撮影、加工 動画編集、加工

私たち、NPO法人「ミニシティ・プラス」（横浜市都筑区中川）は、2007年から子どもの力をまちづく...

達成金額

385,000 円 | 128%

クラウドファンディング 資金調達 + スキル支援

2014年10月末スタート。これまで全ての案件が目標金額達成！

クレジットカード、銀行・郵便の振込、イベント会場での寄付、現金書留による資金支援

WEB制作、イベントスタッフ、事務局サポート等の多数のスキルマッチング

2020年5月1日～

#おたがいハマ

「新型コロナウイルスへのオープンイノベーションによる課題解決に関する連携協定」

横浜市、横浜コミュニティデザイン・ラボ、YOKOHAMAリビングラボサポートオフィスの3社協定



新型コロナウイルスに向き合う産官学民の共創プラットフォーム

#おたがいハマを横浜市として支援します

記者発表資料 令和2年5月1日 政策局共創推進課

新型コロナウイルスに向き合う産官学民の共創プラットフォーム

#おたがいハマ を横浜市として支援します

OTAGAISAMA YOKOHAMA

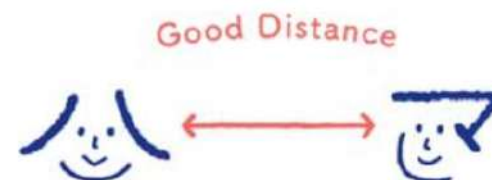
横浜市は、このたび、特定非営利活動法人 横浜コミュニティデザインラボ（代表理事：杉浦 裕樹）及び、一般社団法人 YOKOHAMA リビングラボサポートオフィス（代表理事：河原 勇輝）と協定を締結し、両団体が構築・運営する新型コロナウイルス感染症に対応する共創プラットフォーム『#おたがいハマ』（以下「本プラットフォーム」といいます。）を支援することとしました。

新型コロナウイルス感染症については、感染がいまだ拡大しており、予断を許さない状況です。感染拡大の収束も見通せず、かつて経験したことのない様々な問題が広がりを見せる中、**公民の幅広い主体が知恵を出し合い、課題解決を進めていくことが重要です。**

こうした取組の一つとして、横浜市として、本プラットフォームを積極的に支援し、**産官学民の多様な主体の参画により、様々な形で新型コロナウイルス感染症への対応を進めていきます。**

【#おたがいハマ WEB ページ】※記者発表と同時に公表

<http://otagaihama.localgood.yokohama>



「新型コロナウイルスへのオープンイノベーションによる課題解決に関する連携協定」

「新型コロナウイルスへのオープンイノベーションによる課題解決に関する連携協定」

4 今後の展開について

- 市内/市外や組織/個人を問わず、本プラットフォームの理念に共感する仲間を広く募り、個人や組織が持つ強みやスキルを活かしながら交流を深め、具体的なアクションの創発を目指していきます。
- 各地域にて活動するリビングラボと連携し、本プラットフォームのブランチ組織として位置付けることで、より地域に根ざした活動を推進していき、各地域の状況に応じた取組を進めていきます。

<スキーム図>



問合せ先

【連携内容や協定について】	政策局共創推進課長	小池 道子	Tel 045-671-4394
【#おたがいハマについて】	#おたがいハマ 事務局	杉浦 裕樹	Tel 045-664-9009

#おたがいハマ プロジェクトとは

「新型コロナウイルスへのオープンイノベーションによる課題解決に関する連携協定」

2020年5月1日に3者協定締結

飲食店支援

物資寄付募集/寄贈

#おたがいハマ トーク

#おたがいハマ セミナー

#ICTお助け隊



新型コロナウイルスに向き合う産官学民の共創プラットフォーム

おたがいハマ を横浜市として支援

記者発表資料 令和2年5月1日 政策局共創推進課

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/seisaku/2020/0501otagaihama.html>



#おたがい OTAGAISAMA
YOKOHAMA



新型コロナに向き合う たすけあい プラットフォーム

CONCEPT

<https://otagaihama.localgood.yokohama/>



1. 伝える

横浜の市民、企業、大学、行政などによる
取り組みを集め、社会に対して広く発信す
る。...



2. つながる

横浜市内はもとより、日本各地や世界中で
新型コロナに向き合う人たちの取組とな
る。...



3. 変える

価値観を転換し、おたがいの、働く、学
ぶ、暮らすを変えていくためのアイディ
ア・アク...



トーク&セミナー | 番組

コミュニティ | つながり

リサーチ | 調査

ドネーション | 寄贈

横浜うち飯店

Circular Yokohama 2020 とは

BREAKING NEWS | 速報

SUPPORTER | サポーター

DONATION | 物資の寄付・寄贈のお願い

テイクアウト&デリバリー横浜 | 横浜市経済局
商業振興課

#おたがいハマ トーク：5月1日より108回の生配信



10/18 「ごちゃまぜ社会」で誰もが幸せを目指すための...
58 回視聴・4 日前に配信済み



よこかし #21
25 回視聴・
1 週間前に配信済み



10/9 「横浜市福祉のまちづくり推進指針」について #...
69 回視聴・
1 週間前に配信済み



よこかし #20 音声だけのラジオな回「よこかしradio...
24 回視聴・
2 週間前に配信済み



10/8 「第4期横浜市障害者プラン（素案）」について #...
58 回視聴・
2 週間前に配信済み



10/7 横浜市主催「共創ラボ」：公民連携で創るウィ...
144 回視聴・
2 週間前に配信済み



10/7 #おたがいハマトーク vol.108 第4期横浜市障害者...
185 回視聴・
2 週間前に配信済み



10/6 #おたがいハマトーク vol.107 大澤幸生さん（東京...
119 回視聴・
2 週間前に配信済み



10/5 #おたがいハマトーク vol.106 とつかりビングラボ...
71 回視聴・
2 週間前に配信済み



10/2 #おたがいハマトーク vol.105 堀川壽代さん：SDG...
132 回視聴・
2 週間前に配信済み



よこかし #19～地域循環のプロと「横浜×VEGAN」につ...
31:01



10/1 #おたがいハマトーク vol.104：#おたがいハマと...
33:39



9/30 #おたがいハマトーク vol.103：横浜市中央卸売市...
28:43



9/29 #おたがいハマトーク vol.102：横浜国大・横浜市...
31:55



9/28 #おたがいハマトーク vol.101 持続可能な社会を創...
33:20

#おたがいハマ トーク：5月1日より108回の生配信

学食協のオンライン配信仲間
横浜から配信かし #おたがいハマ

LOCAL GOOD
YOKOHAMA

大学生×コロナ
→
大学生の日常は？

よこかし

しましょう！ #おたがいハマ #よこかし

#おたがい HAMA TALK! YOKOHAMA

2020年
9月29日(火)
12:15-12:45
お昼の30分間トーク番組!

INTERNATIONAL
STUDENT
CAREER
DEVELOPMENT
PROGRAM
留学生就職促進プログラム

Vol.102

ゲスト 横浜国大・横浜市大の留学生就職支援の取り組み

#おたがい HAMA TALK! YOKOHAMA

2020年
8月3日(月)
12:15-12:45
お昼の30分間トーク番組!

ヨコハマ
SDGs
デザイン
センター

Vol.67

ゲスト 麻生智嗣さん (ヨコハマSDGsデザインセンター)

#おたがい HAMA TALK! YOKOHAMA

2020年
8月24日(月)
12:15-12:45
お昼の30分間トーク番組!

Creativity
for
Cure

Vol.78

ゲスト 西井正造さん 横浜市立大学
コミュニケーション・デザイン・センター

#おたがいハマ コミュニティ には700人以上が参加



#おたがいハマ コミュニティ | 横浜

公開グループ・メンバー714人



+ 招待する



情報

ディスカッション

アナウンス

ルーム

メンバー

メディア



その気持ち、シェアしよう

グループ情報

#おたがいハマ から #ICTお助け隊 が誕生



ICTお助け隊

スマホ パソコン タブレット インターネットに
リモートワーク、ホームページに SNS 広報宣伝等々
ICTでお困りの方を助けるおたがいハマ部隊！

例えば、24時間365日 メール LINE Facebook で受付
ヒアリング後、料金と時間がマッチングした人がいたら派遣

Vol.76



TALK!

2020年

8月20日(木)

12:15-12:45

お昼の30分間トーク番組！

ゲスト

ICTお助け隊

山口 良介さん、丸山 恵子さん、梅香家 聡さん

横浜オープンデータソリューション発展委員会

オープンデータの取組みを**民間**側から推進
2012年12月に設立



アイデアソン・
ハッカソン



アプリ・サービス開発



イベント



横浜オープンデータソリューション発展委員会

「オープンデータ自治体サミット」 (2015年6月)

テーマ：オープンデータを活用したオープンイノベーション！

■日時：2015年6月24日(水) 9時30分～19時

■会場：大さん橋CIQプラザ（横浜港大さん橋国際客船ターミナル）

■主催：総務省関東総合通信局、関東ICT推進NPO連絡協議会、横浜市、一般社団法人オープン&ビッグデータ活用・地方創生推進機構（VLED）

■共催：経済産業省、横浜港大さん橋国際客船ターミナル指定管理者 相鉄企業株式会社、横浜オープンデータソリューション発展委員会、NPO法人横浜コミュニティデザイン・ラボ、一般社団法人リンクデータ

■後援：神奈川県、千葉市、一般社団法人神奈川県情報サービス産業協会、一般財団法人日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）、一般社団法人オープンコーポレイツジャパン、オープンガバメント推進協議会



全国初！オープンデータ自治体サミットを開催します

オープンデータを活用して、市民生活の利便性を高め、経済を活性化する 「オープンイノベーション・プロジェクト」を始動

2

「オープンイノベーション・プロジェクト」の概要

オープンデータの活用により地域課題の解決や地域経済の活性化を実現していくためには、

- (1) オープンデータにより行政と民間がそれぞれの持つ情報を共有する
- (2) データに基づいて多様な主体が対話を重ね、新たなアイデアを創発する
- (3) 創発されたアイデアを協働・共創により実現する

ことが必要になります。

横浜市では、以上の趣旨を踏まえ、まず以下の3つの「オープンイノベーション・プロジェクト」を始動させます。

① 地元金融機関と連携した中小企業の経営・創業支援 プロジェクト

② 不動産事業者と連携した不動産総合データベース プロジェクト

③ NPO、企業、大学研究機関と連携した地域課題解決 プロジェクト

インターナショナル・オープンデータ・デイ2018



オープンイノベーションプラットフォームを構想する

一官民データ活用推進計画とリビングラボ、フューチャーセンター

<http://yokohamaopendata.jp/2018/02/21/iodd2018/>

オープンデータに関する横浜市の取組について-1

国は2012年7月に「電子行政オープンデータ戦略」を策定し、同年12月にIT戦略本部に「電子行政オープンデータ実務者会議」を設置。

第1期（2012年～2013年）

公的データの開放と民間主導のアイデアソン・ハッカソンの展開

- ・オープンデータ推進指針の作成
- ・オープンデータソリューション発展委員会との協働

横浜市では2013年度から横浜市IT化推進本部のもとに庁内横断的な推進プロジェクトを設置し、2014年3月には「横浜市オープンデータの推進に関する指針」を策定し、全庁的なオープンデータの推進を開始。

第2期（2014年～2015年）

民間からの提案窓口の開設と課題解決のためのICTプラットフォームの構築

- ・オープンデータデスクの開設
- ・ローカルグッドヨコハマの展開
- ・オープンデータ自治体サミット開催（2015年6月）



オープンデータに関する横浜市の取組について-2

(1) オープンデータを進める基盤づくり（2014年6月～）[政策局]

- 企業や大学、団体からオープンデータの推進に向けた提案を受ける窓口「よこはまオープンデータデスク」を開設
- 市ウェブページでの情報提供・市ウェブサイトの再構築
 - ・横浜市が提供するオープンデータの一覧「よこはまオープンデータカタログ」（試行版）の開設
 - ・人口に関する統計情報の公開

(2) オープンデータを活用した地域課題解決の仕組みづくり

- 民間が行う利用促進の取組への支援
 - ・オープンデータを活用して地域課題を視える化し、市民参加型で解決する仕組みづくりを目指す ICT プラットフォーム「LOCAL GOOD YOKOHAMA」への協力
- オープンデータを活用した対話の場づくり（2014年8月～）[関係各局]
 - ・大学や民間事業者、NPO など多様な主体が参画する「横浜会議」において、対話により課題や対応を考えるイベント「フューチャーセッション」を開催



オープンデータに関する横浜市の取組について-3

(1) オープンデータを進める基盤づくり（2014年6月～）[政策局]

- 企業や大学、団体からオープンデータの推進に向けた提案を受ける窓口「よこはまオープンデータデスク」を開設
- 市ウェブページでの情報提供・市ウェブサイトの再構築
 - ・横浜市が提供するオープンデータの一覧「よこはまオープンデータカタログ」（試行版）の開設
 - ・人口に関する統計情報の公開

(2) オープンデータを活用した地域課題解決の仕組みづくり（2014年6月～）[政策局]

- 民間が行う利用促進の取組への支援
 - ・オープンデータを活用して地域課題を視える化し、市民参加型で解決する仕組みづくりを目指す ICT プラットフォーム「LOCAL GOOD YOKOHAMA」への協力



○オープンデータを活用した対話の場づくり（2014年8月～）[関係各局]

- ・大学や民間事業者、NPO など多様な主体が参画する「横浜会議」において、対話により課題や対応を考えるイベント「フューチャーセッション」を開催



単独計画としては政令市初！

「横浜市官民データ活用推進計画」を策定しました！

（計画期間：平成 30 年～33 年度）

官民データ活用推進基本法及び横浜市官民データ活用推進基本条例を踏まえ、市民意見募集を経て、横浜市官民データ活用推進計画（計画期間：平成 30～33 年度）を策定しました。今後、計画に基づき、条例に掲げられた理念の実現に向けて、着実に取組を推進します。

2 計画に掲げる主な施策

- データを重視した政策形成の推進
 - オープンデータの推進
 - デジタルディバイド対策
 - 先端技術・データを活用した取組の協働・共創による推進
 - 大学等と連携したデータ活用の在り方に関する調査研究
 - 行政手続きのオンライン化の推進
 - マイナンバーカードの普及・活用
 - 情報システムの規格整備
- 等

「かながわオープンデータ推進地方議員研究会」

2014年に設立。県内の超党派地方議員による、オープンデータをテーマとしたフォーラムの開催などを開催。会長：鈴木太郎（横浜市会議員）。

<https://www.facebook.com/DigitalTownResearchSociety/>

後継組織

「地方議員によるデジタル・タウン研究会」

（通称：デジケン）

日常生活のDXに向けて公民連携の触媒となること目指して2020年に設立。



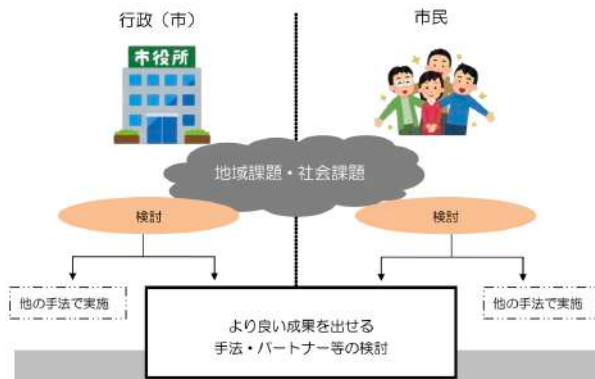
新組織では、地域の枠を超えて全国から仲間を募り、つながりを広げていきます。また、オープンデータにとどまらず、デジタル、データ、デザインの3Dをキーワードに、我々が直面する社会課題にテクノロジーを活用して解決することを目指します。この度、「（仮称）地方議員によるデジタル・タウン研究会（通称：デジケン）」をスタートするにあたり設立総会を行います。同時にデジケン入会申込（年会費無料）の受付を開始します。デジケンには現職地方議員に限らず一般の方、元職地方議員、首長、国会議員などどなたでもご入会いただけます。みんなんで未来を創っていきましょう！

<https://www.facebook.com/events/2982056435225283/>

横浜市市民協働条例：協働契約



●協働事業の流れ（例）



私たちの横浜は、「自分たちのまちは、自分たちでよくしていこう」という様々な活動が活発なまちです。そして、市民・自治会町内会・NPO・企業・行政が知恵や力を合わせ、連携・協力する「協働」の風土が息づいています。

横浜市では、平成 25 年 4 月に市民と行政が互いにその長所を認め合い、それぞれの知恵や経験を活かしながら豊かな協働型社会の形成を目指す「横浜市

種別	内容	これまでの事業例
委託型	市が行うべき事業であるが、市にはない第三者（市民）の優れた特性や能力を活かした方がより良い成果やサービスが期待できるときに、その全部または一部を委ねる形態。 市が有していない専門性や柔軟性、ネットワークの活用が求められるような事業等に有効。	●横浜市地域子育て支援拠点事業 ●横浜市民活動支援センター運営事業 ●ヨコハマ市民まち普請事業
補助型	市民が主体となって行う事業について、市が公益上必要であると認めた場合に、市が資金面（事業費）で協力する形態。 多様化する市民ニーズに対応するため、先駆性をもつ市民と一緒に新たにに取り組む事業等に有効。	●横浜市民活動支援センター自主事業（中間支援組織機能強化事業）
負担金型	協働で行う公共的公益的な事業について、その事業に要する経費を市（またはお互い）が負担する形態。 市民側から提案等によって、市民と市がお互いに応分の負担をし合って取り組む事業等で活用されている。	●条例第 10 条により市民から提案があった事業（保土ケ谷の人・まち・文化を生かした旧東海道にぎわいづくり事業 等）
共催型	市民と市が共に主催者として共同で一つの事業を行う形態。 イベント等の実施に係る企画、広報、実施において市民と市の両者の意見や特性、ネットワークを活かす事業等に有効。	●市民活動コーディネート講座



NPO法人
横浜コミュニティデザイン・ラボ

第1回近江八幡市オープンガバナンス推進協議会

ありがとうございました。



#おたがいハマ WEBサイト